



7月すくすくだより



山田町地域子育て支援センター
(織笠保育園内)
0193-82-6099

すくすく広場

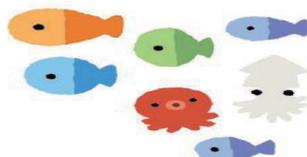
7月 6日(水) 中央コミュニティーセンター和室
時間: 10:00~11:45

- ★七夕まつり
- ★製作:七夕かざりを作ろう(お願い事を考えておいてね)
- ★育児講話『幼稚園入園に向けて』
講師:山田幼稚園 主任保育士 阿部 亜希子先生



7月20日(水) 中央コミュニティーセンター和室
時間: 10:00~11:45

- ★海ごっこ:大きな青い布で海をイメージ
- ★たこの足は洗濯バサミ!?とペットボトルの水族館
- ★お誕生会:7月生まれのお友だちをお祝いしましょう。
写真入りお誕生カードをプレゼント



赤ちゃんランド

7月13日(水) 中央コミュニティーセンター和室
時間:10:00~11:30

- ★マママッサージ ★親子のふれあい遊び ★絵本の読み聞かせ
- ★ママのストレッチ体操(エクササイズ) ★離乳食レシピプレゼント
- ★ママの製作(赤ちゃんの写真入り夏のフレーム作り) 他

出前ワイワイキッズ

7月4日(月)・11日(月)・25日(月)・27日(水)
中央コミュニティーセンター南側和室
時間:10:00~11:40

★ママ達の希望より、利用しやすい中央コミセンでワイワイキッズの出前です。
ワイワイキッズ同様に親子の遊び場として上記の日程でお待ちしています。

☆7月のうたあそび☆



♪おさかなゲット♪

- ①きょうは みんなで さかなつり リールをまいて おさかなゲット まぐろ
- ②きょうは みんなで さかなつり リールをまいて おさかなゲット サメ
- ③きょうは みんなで さかなつり リールをまいて おさかなゲット にんぎょ
- ④きょうは みんなで さかなつり リールをまいて おさかなゲット クジラ

☆ワイワイキッズの水あそび&プールあそび☆

水あそびを通して心と体を鍛えよう。水にふれることで気持ちが解放され、皮膚が丈夫になったり、心肺機能が高まったりします。
水位や水温を調整し、暑い日は楽しく水あそび・プールあそびができるように準備して待っています♥

《持ち物》紙オムツの子は、水遊び用紙パンツ(または、新しい紙パンツ)
水着または、きれいな下着(布パンツ・Tシャツ等) 帽子・タオル
濡れた物を入れる袋 他

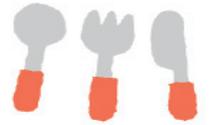


☆支援センター利用のおやくそく☆

- ☆お子さんが遊ばれる際には、目を離さず危険のないようご配慮願います。
- ☆遊んだおもちゃは、きちんと片付けましょう。
- ☆病後の利用は回復の様子を見ながらお願いします。
- ☆オムツ交換の際は、おむつマット(タオル)をご用意ください。
- ☆親子の水分補給(麦茶・水など)は各自ご用意ください。
それ以外のおやつやジュース、お弁当等はご遠慮ください。
- ☆戸外遊び(支援センター園庭・コミセン近くの公園)時に帽子をご用意ください。

★支援センターでは、遊具・玩具等は毎日消毒対応しています★

すくすく子育てだより



☆楽しくおいしい食事のための環境づくり☆

① いす・テーブルは体に合った高さで・・・

背中がピンと伸びていて、状態が後ろに傾かないことが、大事！テーブルに腕をのせたとき、腕の曲がり方に90度以上の余裕があるといいですね。

また、脚をぶらぶらさせず、しっかり床（椅子の補助版）につく方が食べることに集中しやすいです。足がつかないと背中が丸まり、あごが上がります。すると、口が閉じにくくなり、食べものがしっかり噛めなくなります。

② おもちゃは目のとどかないところに

テーブルの上はもちろん、子どもの目の届くところにおもちゃを出しておかないことも、食事に集中させる際には大事なポイントです。

③ テレビを消して、食事に集中を

テレビをつけていたり、にぎやかな音楽を流したままでは、なかなか目の前の食事に集中できません。食事中はママや家族との会話を楽しむくらいの環境がいいですね。

④ 食器類は、すくしやすい形状で

食器は、平べったい皿状よりも、立ち上がりのある椀状がおすすめ。立ち上がり部分は、できれば垂直に近い方が、スプーンなどを使った際にも食べ物がすくいやすくなります。

スプーンは、ボウルの部分が口の大ききの3分の2程度のものが食べやすく、持ち手は短めの方が安定します。



☆自分で食べる～手づかみ食べからお箸まで～☆

① 手づかみ

手づかみで食べることもスプーンなどで食べるための準備段階です。手づかみ食べを行うことにより、はじめは手のひらで握りこんでいた食べものをつぶさず柔らかく持つ、指先で持つなど、指先を上手に使う練習になります。また、手の甲を口に近づけていたのが、手のひらを口に向けるなど、スプーンの操作に必要な腕や手首の動きの発達を促します。

② スプーンを上からにぎる

スプーンの柄を上から手のひら全体で持っています。このときは、腕や手首が自由に動かせないため、自分ですくって食べるのは難しいことが多いです。はじめは、どの指も同じように力を入れていますが、慣れてくると指先で軽く持ってスプーンのすくう部分を口の方へ向けてくるようになります。そうすると、次の段階へ進みます。



③ スプーンを下からにぎる

スプーンの柄を下から持ちます。腕を動かして手のひらを上向きや下向きにしたりすることが増え、自分で食べ物をすくうことができるようになります。小指側の持ち方がゆるんできて、親指、人差し指、中指を中心につまんで持つようになります。



④ スプーンの柄の端をつまむ

親指、人差し指、中指を中心にしてスプーンを持つようになります。スプーンの柄の先端だけをつまんで持つことがあります。手首も動かすことができ、スプーンをいろいろな方向へ動かすことができます。



⑤ 3点持ち(えんぴつ持ち)

③、④が安定すると、よいよ3点持ち(えんぴつ持ち)へ進んでいきます。親指、人差し指、中指でスプーンを持ち、お皿から食べ物をすくって食べます。スプーンの3点持ちが自然にできるようになったら、お箸の練習を始めます。3点持ちができる前にお箸を持たせると、間違った持ち方のくせがつきやすくなります。



指先を使う遊びを十分に・・・《ブロック遊び・クレヨンでお絵かき・洗濯ばさみ遊び》
指先を器用に使えるようになると、箸を上手に持てるようになります♪